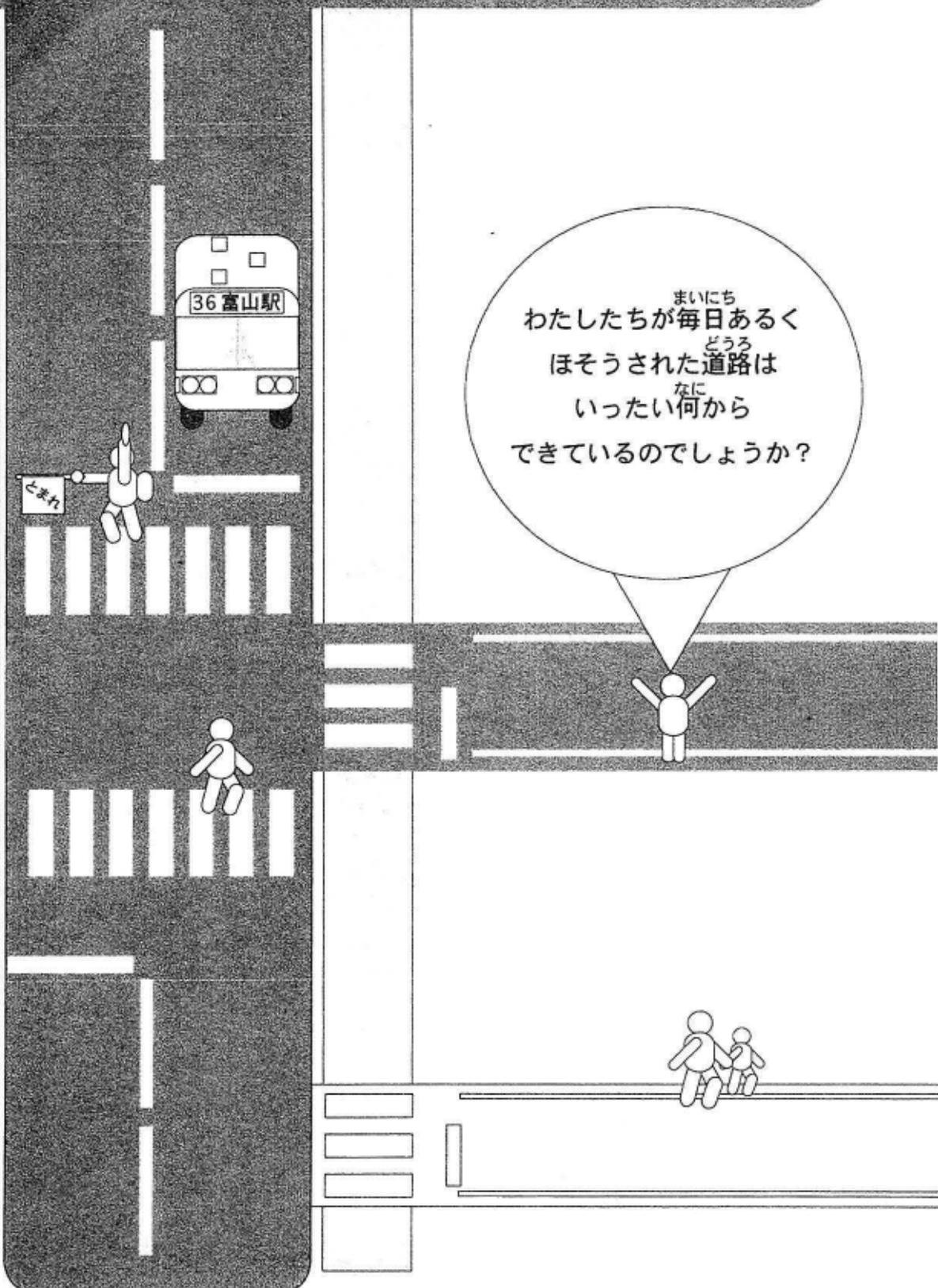


どうも なに  
道路は何からできている？



まいにち  
わたしたちが毎日あるく  
ほそうされた道路は  
どうも  
いったい何から  
なに  
できているのでしょうか？

## 黒い道路はアスファルト。石油のなかまだ！

車に注意して、黒っぽい色をした道路をよーく見てください。石ころと黒いところがありませんか？この黒いものは「アスファルト」です。

さて、「アスファルト」とは何でしょうか？

アスファルトは石油のなかまでです。石油にはいろいろなものがまざっています。自動車の燃料となるガソリン、ストーブの燃料となる灯油、プラスチックやナイロンのもとになるナフサ、そして道路をおおうアスファルトです。

石油がどうやってできたのかは、まだよく分かっていませんが、大昔の小さな生き物が、地下ふかくに閉じこめられて、石油になったと考えられています。

## 白い道路はコンクリート。

白い道路もあります。それはコンクリートからできています。コンクリートは石ころや砂、そしてセメントをまぜてつくります。

では「セメント」とは何でしょうか？

セメントの大部分はセツカイ岩という岩石からできています。セメントは、このセツカイ岩にねんどやセッコウをまぜてつくります。セツカイ岩はおおむかし大昔の貝がらやサンゴなどの生き物が海の底にたまってできたものです。

実はわたしたちが毎日歩く道路は、大昔の生き物が姿を変えたものだったのです！

(たなか ゆたか)

富山市科学文化センター 〒939-8084 富山市西中野町1-8-31

(とやましかがくぶんかセンター) でんわ:076-491-2123

2002年5月1日発行

<http://www.tsm.toyama.toyama.jp/>